

みやざきバイオマスリサイクル 株式会社

会社概要

設立 平成15年5月
代表者 代表取締役 馬場 敬之
従業員 37名
業種 電気業
所在地 川南町大字川南4621-1
TEL/FAX 0983-27-6810 / 0983-27-6204



代表取締役
馬場 敬之 氏

表彰理由

国内では初めて、養鶏農家で発生した鶏糞を直接焼却し、発生した熱の全量で発電し売電するとともに、焼却灰を肥料の原料とするなど、バイオマスの有効活用を図っている。宮崎ならではの資源を活用しているだけでなく、養鶏農家の鶏糞処理の負担を軽減している。また、雇用の創出にも貢献している。

会社紹介

■国内初の大規模鶏糞発電施設

県内の鶏糞農家から排出される鶏糞を直接焼却し、その熱の全量を電気に変換し売電している。

1日400トン、年間で13.2万トンの鶏糞を焼却しており、焼却灰は高い濃度のリン・カリウムを含む肥料原料として販売。

発電出力は11,350kwを有し、年間で約17,000戸分に相当する電気を生み出している。

■地域資源の活用による、地域への貢献

これまで、養鶏農家から排出される鶏糞は、発酵堆肥として還元されていたが、供給過多になる傾向があり、野積み等の不適切処理による悪臭や土壌・地下水汚染等が問題となっていた。

そのような中、平成11年に家畜排泄物の管理の適正化を義務づける法律が施行され、県内の養鶏農家、ブロイラー会社、電力関連会社が共同出資をし、鶏糞発電事業を開始した。

この事業により、養鶏農家の鶏糞処理の負担が大幅に軽減されるとともに、これまで処理困難であった鶏糞が、地域のバイオマス資源として有効活用されることとなり、その結果、県内養鶏産業の安定化と環境負荷軽減が図られている。

また、小中学校を始め、地域の環境教育にも熱心取り組んでいる。



鶏糞発電施設



管理・制御室